

指定管理者制度導入施設評価票

評価対象年度	令和4年度		
施設名	秋田県児童会館	設置年	昭和 55 年
所在地	秋田市山王中島町1番2号		
指定管理者	特定非営利活動法人あきた子どもネット		
県所管課	次世代・女性活躍支援 課	子育て支援 チーム	

1 施設の概要

設置目的	児童に健全な遊びを提供してその健康を増進し、及び情操を豊かにするとともに、自然と文化に関する児童の認識を深めてその豊かな人間性と創造性を育む。						
県の施策上の施設の位置付け	新秋田元気創造プランや各分野の個別計画等における、当該施設の位置付け・目標 「第3期すこやかあきた夢っ子プラン」において、乳幼児から高校生までの子どもを対象とした健全な遊びや活動の拠点として位置付けられている。						
	新秋田元気創造プランや各分野の個別計画等における目標を達成するための取組として、当該施設に求められているもの 上記の位置付けに加え、さらには居場所となるよう機能の充実を図ることとしている。						
施設の面積	敷地面積4,373.54㎡、建築面積3,145㎡、延床面積5,672.7㎡						
主な設置施設	レクリエーションホール、子ども劇場、プラネタリウム、木育ルーム、図書室など						
指定管理業務の内容	料金制	<input checked="" type="checkbox"/> 利用料金併用制 <input type="checkbox"/> 完全利用料金制 <input type="checkbox"/> 無（指定管理料制）					
	料金設定	別紙による。					
	サウンディング実施対象施設※	× ←○、×を記入					
	指定期間	R5.4.1		～ R10.3.31			
	営業期間・時間	1月4日～12月28日 午前9時～午後5時（月曜日定休）					
自主事業の内容	一 使用の許可、使用の許可の取消し並びに使用の制限及び停止に関する業務 二 施設及び設備の維持管理に関する業務 三 児童の健全な遊びの提供に関する業務 四 自然と文化に関する教育活動に関する業務 五 全県の児童館のセンターとしての業務						
	毎週および季節の工作事業、助産師による育児相談、絵本読み聞かせ、季節の行事、グランドピアノコンサート、遊び歌コンサートなどの開催。HP・Facebook・Instagramによる情報発信等						
	直近3年の年間利用者数	R 2	47,670 人	R 3	58,900 人	R 4	79,267 人
	直近3年の年間料金収入	R 2	6,130 千円	R 3	8,563 千円	R 4	8,882 千円
	直近5年の収支決算（単位：千円）	H 3 0	R 元	R 2	R 3	R 4	
収入計	65,474	69,796	68,166	69,962	71,493		
利用料収入	6,424	10,289	6,130	8,563	8,882		
指定管理料	59,030	58,696	59,531	59,465	59,742		
その他収入	20	811	2,505	1,934	2,869		
支出計	61,665	69,599	64,980	69,608	71,695		
人件費	32,385	34,582	34,273	34,312	34,508		
人件費以外	29,280	35,017	30,707	35,296	37,187		
差 引	3,809	197	3,186	354	▲ 202		

※単年度維持管理・運営費が1億円以上の公募施設について、民間事業者の意見を参考に運営手法や公募要件を検討するため、指定期間終了の2～3年前にサウンディング（官民対話）を実施する。

2 観点ごとの評価

(観点Ⅰ) 施設の設置目的(施設の目指す姿)の達成に関する取組

【ポイント】

施設の設置目的(施設の目指す姿)を達成するための取組がなされ、その効果があったか。

○指定期間における運営方針・施設の利用目標

※協定書に記載した運営方針・施設の利用目標を記載
(R6年度以降に指定管理を開始・更新する施設から基本協定書に定めることとなっているため、それまでは記載不要)

○目標の設定(毎年度、県と指定管理者が協議の上、業務計画書に定める目標)

令和4年度の目標	利用者数 60,000人
----------	--------------

○指定管理者による実績報告

直近3年の実績	年度	R元年度	R2年度	R3年度
	目標	125,000	120,000	60,000
	実績	127,211	47,670	58,900
	達成率	101.8%	39.7%	98.2%
令和4年度の実績	実績	79,267人	達成率	132.1%
	具体的な取組とその効果	昨年度に続き新型コロナウイルス感染症の対応に迫られる1年となり、特に8月、12月は爆発的に感染者が増えた。そんな中でも感染対策をしたうえで行ったプラネタリウムや毎週の工作など「子ども博物館事業」の参加者が伸びを見せた。また、他施設の閉館、工事により劇場利用者が大幅に増えた。		
令和5年度の目標(設定根拠)	目標	利用者数 80,000人		
	設定根拠	令和5年度は行事の縮小もしないことから、育児サークルでの保護者同士の交流事業や人数緩和した各種事業を行っていく。新型コロナウイルス感染症の5類感染症への位置付けが変更となる5月8日以降は、遊具の増加や飲食スペースの開始など来館者の居場所として安心できる環境整備をしつつ、来館者の増加を図ることとし、今年度は8万人の利用目標を設定した。		

※指標が複数ある場合は欄を適宜追加すること。

(観点Ⅰ) の評価

評価欄	評価者	評価	コメント
	指定管理者	A	令和4年度の目標を達成した。定期的に工作、カブラ広場やキッズジムなどの、心と体を健全にはぐくむイベントを開催。夏、秋、冬は規模を縮小しつつ季節イベントを開くとともに、換気の良い劇場を利用しての自主事業も積極的に行った。
県(所管課)	A	新型コロナウイルス感染症の影響がありながらも、感染対策を講じながら児童に健全な遊びを提供するなどにより利用者数の目標を達成していることからA評価とした。	

【評価基準】次の基準により評価。基準によらず各区分に相当すると認められる場合は、コメント欄に理由を付すこと。

また、施設の設置目的(施設の目指す姿)を達成するための、指定期間における運営方針・施設の利用目標について、指定期間開始年度から評価対象年度までの達成状況をコメント欄に記載すること。

A：目標達成(数値目標の場合は100%以上)

B：A及びC以外

C：目標達成に向けて改善が必要(数値目標の場合は80%未満)

（観点Ⅱ）施設の有効性（利用者の満足度）の向上に関する取組

【ポイント】

サービスの質を維持・向上するための具体的な取組がなされ、その効果があったか。

○指定管理者による実績報告

利用者満足度の状況 (直近3年)	R元年度		R2年度	R3年度
	89.0%		91.0%	87.4%
令和4年度の実績	実績	96.5		
	具体的な取組とその効果	・映画や季節イベントなど要望の多いものは、新型コロナウイルス感染症対策として一回の人数を抑えつつ数回開催した。 ・遊べる遊具を増やしてほしいとの声にこたえ、抗菌処理をしたうえでピングポングやボルダリングの使用を再開した。		

（観点Ⅱ）の評価

評価欄	評価者	評価	コメント
	指定管理者	A	暑い、寒い、駐車場を増やしてほしいなどすぐに応えられないものもあるが、利用者アンケートの意見には可能な限り対応している。令和4年度は遊具やプラネタリウムなどを再開するなどして96.5%の満足度となった。
県(所管課)	A	利用者の意見にきめ細かく対応していることから満足度は高水準を維持し、令和4年度は直近3年間で最も高くなっており、評価できる。	

【評価基準】次の基準により評価を行う。基準によらず各区分に相当すると認められる場合は、コメント欄に理由を付すこと。

A：満足度80%以上　　B：A及びC以外　　C：満足度60%未満

（観点Ⅲ）効率性の向上等に関する取組

（1）経費の低減

【ポイント】

施設の管理運営（指定管理業務）に関し、経費を効率的に低減するための十分な取組がなされ、その効果があったか。

○指定管理者による実績報告

令和4年度の実績	経費の低減実績	劇場の使用量の増加などにより、総額では経費は前年比で3%増加したが、利用者1人当たりで換算すると前年比で23%減少している。
	具体的な取組とその効果	令和4年度は令和3年度の70周年イベント等の特別な支出がなかった。そのほか原油価格等が高騰し負担が増している状況においても需用費（小破修繕）の削減に取り組んだ。そのため経費総額としては増加したが、利用者1人当たりの経費は減少している。

※費用の総額では効果が計れない場合は、例えば利用者1人当たりの単価を算出する方法等も考えられる。

（2）収入の増加 ※指定管理料制施設を除く

【ポイント】

収入を増加するための具体的な取組がなされ、その効果があったか。

○指定管理者による実績報告

令和4年度の実績	収入の増加実績	利用料金収入が前年度比で3.7%増加した。
	具体的な取組とその効果	利用料金収入は劇場使用料によるもの。もともと一般料金より低額である児童料金を設定していることに加え、他施設の閉鎖等により、劇場稼働率が前年度比で8%増加。それに伴い利用料金収入も増加した。

(観点Ⅲ) の評価

	評価者	評価	コメント
評価欄	指定管理者	B	経費の低減については、需用費（小破修繕）の削減に取り組み、利用者1人当たりでは5%以上改善している。収入については劇場の利用者の増加により前年比で改善している。
	県（所管課）	B	経費の低減については、総額では前年比で増加したものの、利用者1人当たりでは5%以上減少していることからB評価とした。

【評価基準】 次の基準により評価を行う。基準によらず各区分に相当すると認められる場合は、コメント欄に理由を付すこと。

A：（1）経費の低減、（2）収入の増加とも前年比で5%以上改善

B：A、C以外

C：（1）経費の低減、（2）収入の増加とも前年比で5%以上悪化

(観点Ⅳ) 公の施設にふさわしい適正な管理運営に関する取組

【ポイント】

施設の管理運営（指定管理業務）の適切な実施に向けた具体的な取組がなされ、その効果があったか

○指定管理者による実績報告

令和4年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ○人員配置 施設の管理運営に必要な人員を配置しており、サービス提供に支障は生じていない。 ○職員の資質向上 定期的に防災研修を行ったり来館者対応の共有をするとともに、希望者は子育て支援員研修を受けている。 ○地域や関係団体等との連携 地域の読み聞かせグループや民謡団体、秋田大学の奇術研究会等へのイベント依頼など、地域で活動している団体と連携を図っている。 ○安全対策 施設の点検結果から、おもちゃやタイルの隙間を埋めるなどの修繕を行い、利用者が安心して利用できる状態を保っている。また、光触媒抗菌システムでトイレやおもちゃ、イスや手すりなどほとんどのものをコーティングし、新型コロナウイルス感染症対策を行った。 ○危機管理等 事故防止マニュアル等及び緊急時連絡体制を整備している。
----------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(観点Ⅳ) の評価

	評価者	評価	コメント
評価欄	指定管理者	A	実績報告に記載のとおり、施設の管理運営等、指定管理業務は適正に行っている。
	県（所管課）	A	モニタリングの結果においても適切な管理運営を行っていることから、A評価とした。

【評価基準】 A：順調（改善点なし）、B：概ね順調（重大な問題点なし）、C：改善が必要（重大な問題点あり）

県（所管課）の評価においては、モニタリング結果を踏まえて評価を行う。

【県の施策達成に向けた県所管課の施設運営に対する考え方】

※全施設記載

○県の施策の達成状況 (施設を運営することで、県の施策がどの程度達成されたか等) 児童への安全に配慮しながら健全な遊びを提供し、児童の健康の増進等に寄与しているほか、共働き世帯が増えたことにより放課後の児童の「子どもの居場所」として活用されている。
○施設運営の課題 ・施設の老朽化
○今後の方向性 (県の施策の達成状況や課題を踏まえて、今後所管課としてどのように対応していくか等) ・引き続き児童の健全な育成へ向け、様々な遊びの提供や人間性、創造性を育む機会を提供する。 ・利用者が常に安全に利用できる状態となるよう、計画的な施設の修繕を行う。

【外部有識者委員会による評価（提言）】

※外部有識者委員会の評価対象となる約20施設について記載

評価（提言）
○施設の管理運営状況について (（観点Ⅰ）～（観点Ⅳ）に対するコメントを記載)
○県の施策達成に向けた施設運営について (県の施策達成に向けた県所管課の施設運営に対する考え方を踏まえてコメントを記載)

【外部有識者委員会による評価（提言）を踏まえた今後の対応方針】

今後の対応方針
指定管理者 (施設の管理運営等について今後の対応方針を記載)
県所管課 (県の施策達成に向けた施設運営等について今後の対応方針を記載)